

はあどねっと

Heart Net TAKE FREE
ご自由にお持ち帰りください

Vol.14

岩見沢市立総合病院 広報誌
2021年3月発行

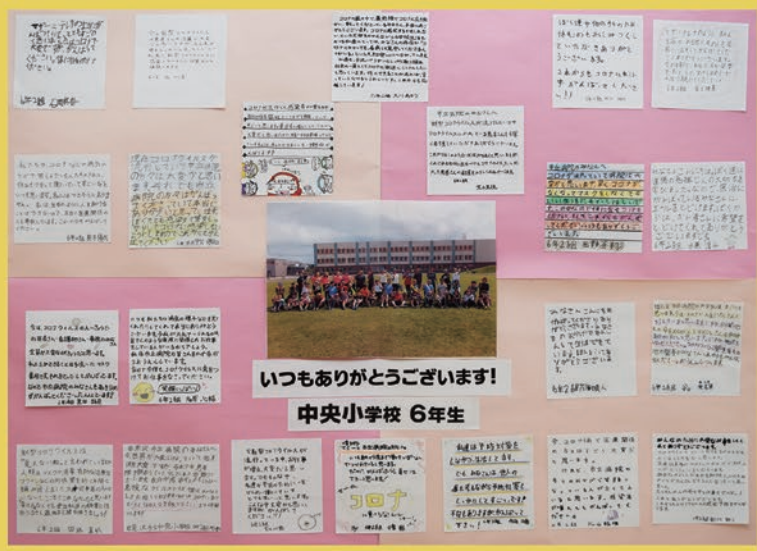
ホームページ
<http://www.iwamizawa-hospital.jp>



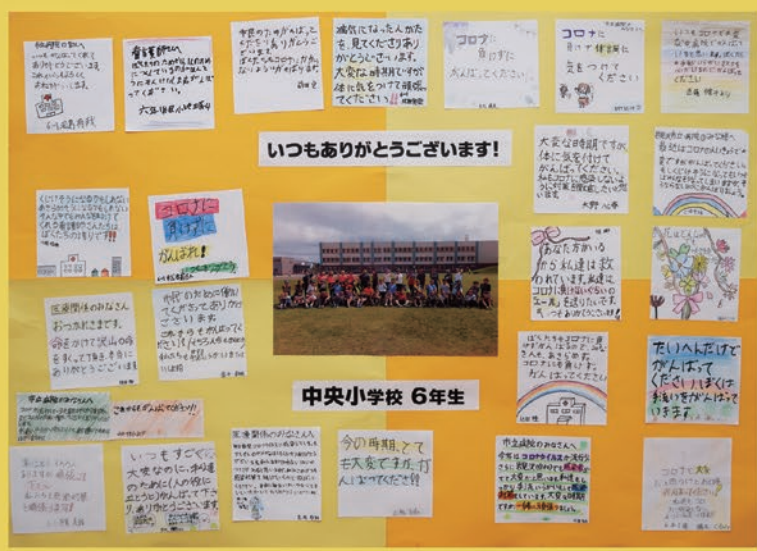
特集

新型コロナウイルス感染症 (COVID-19) 感染対策

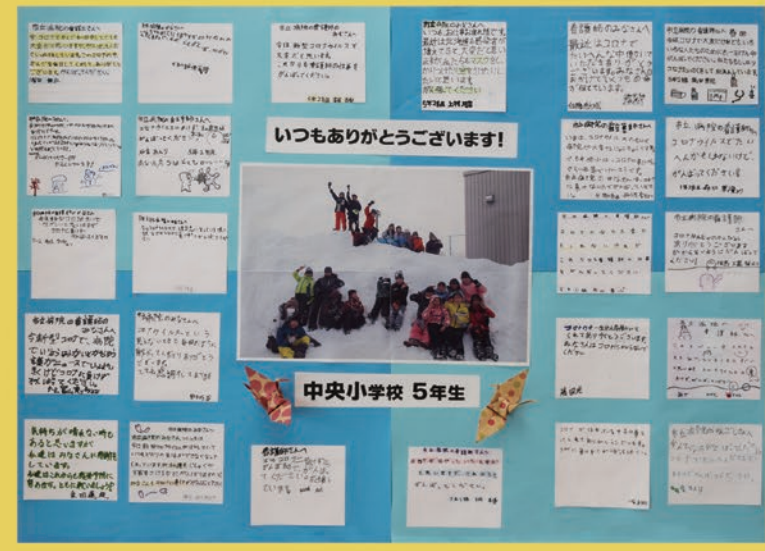
看護部における感染対策への取り組み



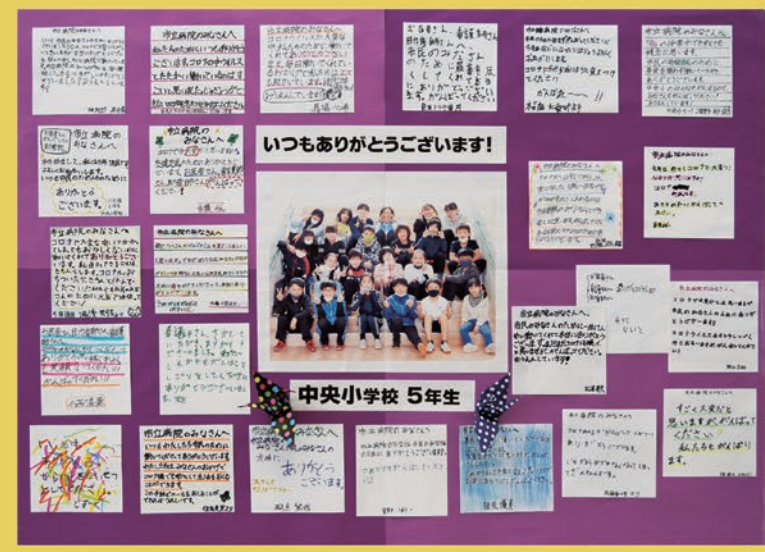
いつもありがとうございます!
中央小学校 6年生



いつもありがとうございます!
中央小学校 6年生



いつもありがとうございます!
中央小学校 5年生



いつもありがとうございます!
中央小学校 5年生

[今月の職場紹介]
手術室のご紹介
トリアージチーム
リポート 2本立て
精神科デイ・ケア

[写真] 岩見沢市立中央小学校:5・6年生の皆さんの手書き応援メッセージ

[特集] 新型コロナウイルス感染症 (COVID-19) 感染対策 / 看護部における感染対策への取り組み
[今月の職場紹介] 手術室 / [リポート] トリアージチーム / 精神科デイ・ケア
[フッキング] 健康レシピ / 新型コロナウイルス感染対策にかかる寄贈者さま



新型コロナウイルス感染症 COVID-19 感染対策

感染防止対策室

副室長 阿部 珠子

Abe Tamako

2020年は新型コロナウイルス感染症対策に迫られる一年でしたが、患者様や来院者、病院職員が安心していただける医療の提供に努めてきました。新型コロナウイルス感染症についてと当院での取り組みについて紹介します。

【新型コロナウイルス感染症の特長】

潜伏期間は1～14日間ですが、多くは5日前後で発症します。

風邪やインフルエンザと似たような症状がみられることが多く、風邪やインフルエンザよりも症状が長く続きます。

症状としては、発熱・咳・だるさ・息切れ・筋肉痛・味覚や嗅覚障害などの頻度は高いとされています。

症状	COVID-19	風邪	インフルエンザ
発熱	◎	▲	◎
咳	◎	◎	◎
咽頭痛	○	◎	◎
息切れ	○	×	×
だるさ	○	○	◎
筋肉痛	○	×	◎
頭痛	○	◎	◎
鼻水	▲	◎	○
下痢	▲	×	○
くしゃみ	×	◎	×

新型コロナと風邪、インフルエンザとの症状の比較（オーストラリア政府啓発資料より）

【感染経路】

1

飛沫感染



感染性のある人が咳、くしゃみ、歌唱、会話、呼吸をする際に鼻や口から出る飛沫を近くにいた人が吸い込む、あるいは、飛沫が鼻や口の粘膜に付着し感染する。

2

接触感染



環境表面やモノに触れた際にウイルスが付着した手で口、鼻、眼に触れて感染する。

3

空気感染



空気中を数分から数時間にわたって浮遊する、ウイルスを含む小さな飛沫や粒子を吸い込むことで感染する。

※新型コロナウイルスが空気感染するのは、換気の悪い閉鎖空間で、運動や歌唱により感染性のある人の呼吸が荒くなる場合などでおけると言われています

【感染対策】

1

マスクの着用

症状の有無にかかわらず屋内や人との距離が保てない環境では全ての人がマスクを着用する「ユニバーサルマスク」という概念。

マスクの正しい着け方
上下・表裏をチェック→ノーズピースが上



鼻から顎まで
しっかり覆う

2

手洗い・手指消毒

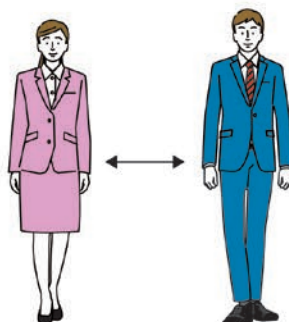
効果的な手指衛生を行うためには正しい方法とタイミングが大切。



3

3密回避

マスク着用・換気・距離をとる・座る位置の工夫・会話を控える。



4

環境清掃

家庭・施設の中で良く手が触れる部分（高頻度接触面）の清掃・消毒。

※ドアノブ・手摺り・トイレのレバー・テーブルや椅子・スイッチ・リモコン・電話



新型コロナウイルス感染症（COVID-19）感染対策

特集

新型コロナウイルス感染症 COVID-19 当院での取り組み

体温チェック

来院者で発熱がある方を早期に発見できるよう、自動体温測定器を設置し検温を行っています。
受診目的の発熱患者様は、発熱外来を案内し、問診・診察を受けて頂いています。
また、院内にも発熱者の待機場所を複数設置して対応しています。

手指衛生

来院時・退院時に手指消毒をして頂けるよう、アルコール手指消毒薬の設置場所を増設しています。
手すり・ドアノブ・スイッチなどに触れた時は、手指消毒を行って下さい。
職員もアルコール手指消毒薬を携帯し手指消毒を積極的に実施しています。

面会禁止

入院患者様やご家族の方にはご不便をおかけしておりますが、人の出入りを制限することで院内（各病棟）への新型コロナウイルスが持ち込まれるリスクを最小限にしています。
面会についてはリモート面会サービスがありますので、そちらをご活用ください。

換気

1時間ごとに院内放送を流し、換気を行っています。
冬期間は、室温が下がることもありますがご理解をお願いいたします。
また、多くの人が集まりやすい、待合・中央ロビーには空気清浄機を設置しています。

発熱外来

本館西側駐車場にプレハブを設置し11月より発熱外来を開始しました。
陰圧装置がついた診察室・待合室となっており、安全に診察が行えます。
玄関で発熱のあった方はまずこちらで診察を行います。インフルエンザや新型コロナウイルス感染症対策として、診察の医師・看護師はマスク・ゴーグル・ガウン・手袋などを着用して診察を行っておりますが、患者様ごとに環境清掃、手袋交換・手指衛生を行っており、安心して診察を受けていただける環境となっています。

職員への教育

手指衛生や防護具の着脱方法について指導を行っており、院内研修を開催するなど、全職員に対し感染対策の教育を実施しています。



特集

新型コロナウイルス感染症(COVID-19)感染対策





看護部における 感染対策への取り組み

看護部長 小林 紀子
Kobayashi Noriko

当院では、昨年2月に一人目の新型コロナ患者さんを受け入れてから様々な対策、体制の変更を行い対応してきました。当院は、もともと感染症病棟として4床の届出をしていますが、感染拡大に伴い、隔離できる環境という理由で、昨年2月末より新棟4階の透析病棟を感染症病棟に変更しました。入院中の透析の患者さんは他の病棟へ移動してもらい、透析病棟に所属する職員には、そのまま感染症病棟で勤務してもらいました。その際、感染認定看護師を中心に、感染対策の教育、病棟内のゾーニング、患者さんの対応のマニュアル作成など早急に行いました。しかし、その当時は未知のウイルスであり、病棟看護師は「自分が感染したら…」という思いから、実家にも帰ることができない、友人とも会えない、他の職員からも敬遠されるなど、かなりナーバスな状態で勤務することとなりました。それでも、目の前の患者さんに寄り添い、献身的に看護にあたってくれていました。保健所を通じて、退院した患者さんから感謝の言葉を頂いたことは看護師にとって、とてもうれしい事であり励みになりました。

私は、4月に看護部長に就任後、看護部の年度目標を考えるうえで、やはり感染対策を優先して行うべきと考えました。そして、看護の質の向上に関する「通常目標」に加え「緊急目標」として①倫理観をもち、自己と患者の安全をまもるための行動がとれる。②病院機能を存続させるための環境の変化に順応できるような体制を確保する。という2点を挙げました。職員ひとりひとりが感染に対する正確な知識を持ち実行することが院内感染予防につながるということと、患者さんと同様、職員が感染した際にも倫理観をもって行動することが大事だと思ったからです。また、当院は南空知で第二種感染症指定医療機関としての役割があり、通常の医療と共に、常に感染症の対応ができる機能を維持する事が必要であると考えました。各部署では感染者が発生した場合のシミュレーション、PPE着脱のビデオ視聴による学習、eラーニングによる学習等を行い、感染対応力の向上に努めました。

感染病棟の看護師配置に関しては、感染対応に係るメンタルヘルスの側面と、院内感染が発生した際、応援体制がとれるための教育体制として、期間を決めて各部署から異動してもらうこととしました。そのため、HPでも公表していますが職員の新型コロナ陽性者が発生した際にも感染症病棟への応援などをスムーズに行う事ができました。入院患者さんには転棟して頂いたり、通院している患者さんには外来診療と治療を縮小したりなど、ご迷惑をおかけしましたが、ご協力いただいていたことが乗り切ってきた状況です。

11月下旬より地域でのクラスターの対応で感染病棟の入院患者数が増加しました。その際、介護度が高い患者さんが多かったため、看護師は陽性エリアで防護具を半日以上脱ぐことができず、汗だくで看護ケアに従事していました。患者さんの重症度・介護度から独自のスコアを計算したところそれまで20点台だったのが一気に80点に上がり、感染病棟の体制の充足が必要だということで一時的に休日勤務、夜勤者の人数を多くしました。その分、それまで行っていた感染病棟外の感染対応の業務を他の部署に応援依頼をかけました。

以上のように、看護部としては病院の体制変更と新型コロナの感染状況に合わせて院内感染予防と働く職員の環境調整に努めてきました。しかし、コロナ禍とはいえ、頻繁な環境の変化は職員にとって多大なストレスになります。よって、この環境では特にメンタルサポートが重要だと感じています。私たちは、南空知地域の方に、当院で必要な医療・看護が受けられる体制を維持したいという思いから、病院全体で感染対策に取り組んでいます。地域の皆さまには、今後とも、ご協力いただけるようお願い申し上げます。



特集

看護部における感染対策への取り組み



WORKPLACE INTRODUCTION

今月の職場紹介

南空知の基幹病院として 年間2,700件以上の手術数をこなす!!

手術室は南空知の基幹病院として年間2,700件以上の定期手術や緊急手術に対応しています。2017年からはダヴィンチ(手術支援ロボット)手術を行っており、患者様の負担が少しでも少ない治療方法を取り入れています。

手術部スタッフは麻酔科医3名、看護師18名、看護助手2名で構成されています。

1つの手術に関わるスタッフは、主治医を中心に麻酔科医・臨床工学技師・看護師2から3名の医療スタッフでチームとなり支援しています。

私達は、周術期における患者の安全を守り、手術が円滑に遂行できるように専門的知識と技術を提供できるよう、患者の全身状態や心理状態などを把握し個々の患者に応じた看護を提供できるよう努めています。



手術室のご紹介

手術室 看護師長 横井 恵



常にマスクと帽子を装着していますが、
笑顔を絶やさず日々頑張っています。
新人、2年目、3年目の看護師も頑張っています。

また、術前・術後訪問を行っており、術前訪問では患者との会話を通して心理的状態、訴え、悩みなどを傾聴し不安の除去に努めたり、情報をチーム内で共有し術中看護に活用しています。

術後訪問では術中看護が適切であったか評価し、術前・中・後を通して患者の思い・訴えに耳を傾け寄り添える看護を提供できるように努めています。

REPORT.#1 トリアージチーム

災害支援ナース 中村 一世(4階東病棟 看護主任)



限られた医療資源で
最善の治療を考える

トリアージとは、限られた医療資源(医療スタッフや医薬品等)の中で、1人でも多くの傷病者に対して最善の治療を行うため、傷病者の緊急度に応じて、搬送や治療の優先順位を決めることをいいます。

当院は災害拠点病院、救急告示病院(指定二次救急医療機関)の役割を担っており、大規模災害においても、医療サービスを継続させ、災害拠点病院としての対応力が求められています。

院内における災害トリアージ体制確保のため、2014年より、災害トリアージチームが立ち上がり、看護師の災害・救急に関する知識・技術の向上、災害・救急対応可能な看護師養成を行ってきました。



2018年には、更なる災害・救急看護に関する知識、技術、質の向上と災害・救急対応可能な看護師養成の体制確立を目的とし、^{デニ-}DENI(Disaster and Emergency Nursing in Iwamizawa)を発足しました。

具体的な活動としては、災害トリアージ会議の開催、トリアージチームメンバーの知識・技術向上の為、机上・実技訓練を行っています。

また、看護師を養成するため、年4回の研修を開催し、岩見沢市立総合病院における災害・救急看護体制の底上げを行っています。

毎年病院全体で災害訓練を実施し、来るべき災害に備え、日々切磋琢磨しています。

REPORT.#2 精神科デイ・ケア より自分らしい暮らしを

リハビリテーション科 技師長 鈴木 光広

この記事をお読みの方は、精神科デイ・ケアという言葉をお聞きになったことはありますか。

日本では約70年前にその試みが行われ、診療報酬として点数化された後、私達の病院でも昭和64年に大規模としての施設基準の認可を受けました。その主な目的は、メンタルヘルス科に通院中の方が、抱えている病気の影響で体調が不安定にならずに、住み慣れた地域で、人との繋がりを保ちながら、より自分らしい暮らしを維持することにあります。



具体的には通いの場で、個別的、またはグループで、創作的な活動をしたり、軽い運動やスポーツをしたり、体調や生活の自己管理が出来るようなプログラムを行ったり、同じ病気を抱える方との交流プログラムを行ったり、料理などの生活技能を高めるプログラムや季節に合わせたレクリエーションなどを行ったりしています。現在は、1日15名前後の方が来院され、それぞれが目指す目標に沿った活動をしています。場所は、新棟6階の岩見沢市が一望できるとても綺麗な部屋です。

精神科デイ・ケアを利用するには、他の医療行為と同様に医師の処方が必要となりますが、担当する専従の看護師、精神保健福祉士、作業療法士の3名が医師を含めてチームを組み、それぞれの専門性を背景としながらも、人と人との関わりを大切にしながら日々、進めています。

活動の成果の一旦は、年に一度、デイ・ケア祭という対外的なイベントの機会でも、市民の方にも公開をしています。近年、こころの病が注目されていますが、精神科デイ・ケアも、より質の高いサービスの提供ができるよう努めていきたいと思っています。



撮影：リハビリテーション科 久野 穰

COOKING

クッキング

栄養科
木村 香織

ヘルシーな健康サラダ
ヨーグルトの種類で
楽しみ方が色々

材料 4人分

○じゃがいも	2個
○人参	40g
○きゅうり	1/2本
○卵	1個
○ハム	4枚
○レタス	1枚

ヨーグルトソース

A	○プレーンヨーグルト(無糖)	80g
	○はちみつ	小さじ1/2
	○塩	小さじ1/4
	○ブラックペッパー	少々
	○レモン汁	少々

OnePoint/

- ① マヨネーズを使わずヨーグルトで作る、ヘルシーなポテトサラダです。
- ② ヨーグルトには腸内の善玉菌を増やし、腸内環境を整える働きがあるため、腸活におすすめな一品です。
- ③ ヨーグルトの種類によって、味や効果・効能に違いがあるので、ぜひ好みのヨーグルトで試してみてください。

健康レシピ ヨーグルトのポテトサラダ



作り方

- ① Aを混ぜ合わせ、ヨーグルトソースを作る。
- ② じゃがいもは皮つきのまま水から茹で、柔らかくなったら皮をむきつぶし、ヨーグルトソースの半量を加えて下味をつける。
- ③ 人参はいちょう切りにして、さっと茹でる。きゅうりは輪切りにして塩を少々ふってもみ、水気をきる。卵は茹でて、粗くざむ。ハムは短冊切りにする。
- ④ ボールに②、③、残りのヨーグルトソースを加えて、混ぜ合わせる。
- ⑤ 器にちぎったレタスを添えて、盛り付ける。



新型コロナウイルス感染対策に かかる寄贈者さま

- ・宮脇グループホールディングス株式会社 グループ会社計6社
- ・空知管内農業協同組合長会
- ・カフベンテック株式会社

—2月末時点—

その他匿名での寄贈者さまもいました。ご支援有難うございました。



はあとねっと14号をお届けします。

岩見沢市は記録的な大雪に見舞われた年末年始でしたが、少しずつ雪の降り方も穏やかになる日が多くなってきています。今年も地域の皆さまが安心して来院できるように、新型コロナウイルス感染予防対策を職員一丸となって継続的に取り組んでいきます。

また、これまで入院中のご面会は原則禁止させていただいていましたが、12月からリモート面会を開始しています。リモート面会のサポートを通して、改めて患者さまとご家族さまの強い絆を感じることができました。今後も「はあとねっと」を通じて、地域の皆さまに新しい取り組みや診療に関する情報をお届けしていきたいと思っております。

サービス向上委員会 事務局